

支援プログラム（児童発達支援）

法人（事業所）理念		障害があってもその人らしい自立した生活を地域社会において営むことができるよう、学習・運動・感情教育を身につけ、いきいきと生活できるよう総合的に支援します。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを大切に、子どもが主体的に将来、社会へ自立する時へ向け、身につけるべき技術を日々の訓練活動で取り組んでいきます。 ・子ども達にとって「楽しく、安全な場所」であり続けることを心掛けます。 ・子ども達を取り巻く環境を把握し、サポートが出来、安定した社会生活が営まれるよう支援します。 		
営業時間		8時 30分 から 18時 00分 まで	送迎の有無	あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握 ・個別に必要な医療的ケアを実施 ・睡眠サイクルや、食事面など生活リズムの安定 ・排泄の状態に合わせたトイレの目標設定と支援 ・入浴サービスで清潔と楽しさを経験する 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して様々な運動・感覚系の発達を促す ・個別の発達段階に合わせた粗大運動や巧緻動作の発達を促す ・安心して楽しく遊びを経験できるよう個別の運動や感覚の発達に合わせた支援 ・医療リハと連携し運動 ・感覚に対する発達の視点での専門職の関わり 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や制作、散歩を通して季節を感じる ・制作活動やレクリエーションにより色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養う ・主体的な活動を通して遊びを深めていくことで認知・行動の向上につなげていく 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語/非言語を用いて、コミュニケーションの疎通性を向上させ、自分の思いが伝わる経験を積む ・遊びや活動を通して多くの言葉に触れ、事物と言葉がマッチングできる環境づくり ・ひらがな、数字などの基礎的な文字への興味関心を広げることができる支援 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフやお友達と一緒に遊ぶ活動を通して他者とのかかわりの経験を積む ・主体的な遊びから「楽しかった」という達成感を経験し、振り返りを支援する ・見通しを立てることで自分の気持ちに折り合いをつける経験を重ねる 		

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の相談や悩みに対する助言 ・家族の休息、仕事、リフレッシュなどへの配慮 ・兄弟の状況把握と配慮 	<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や他の放デイと情報共有 ・移行支援会議、カンファレンスへの参加
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係事業所への情報共有、連携 ・通所支援連絡会への参加 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修 ・事例検討会 ・職種別研修 ・法定研修（マナー・接遇、虐待防止、感染症対策、ハラスメント、コンプライアンス、人権擁護）
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた行事や活動 ・図書館や博物館、美術館への外出。 ・お買い物体験 ・同グループ内での高齢者施設への慰問 ・防災訓練 ・行事の振り返りと保護者会 		